

(禁無断転載)

解答は、すべて解答用紙に記入して必ず提出してください。

平成 18 年度
第 1 回「検定『お伊勢さん』」
問題用紙

上級【歴史と文化編】

(午後 2 時 30 分開始 制限時間 60 分)

【注意事項】

1. 解答用紙への記入にあたっては、硬度 HB または、B の黒鉛筆を使用してください。
(ボールペンは使用不可)
2. 解答を訂正する場合は、跡の残らないようにプラスチック消しゴムで消してください。
3. 解答欄は、各問題につき 1 つのみ解答してください。
4. 問題は全 50 問で、配点は問題 1 問につき 2 点です。

(平成 18 年 11 月 12 日 施行)

伊勢商工会議所

1. 次の文章を読んで、それぞれ正しいものを選んで、記号で答えなさい。

- (1) 牛車楼と呼ばれた遊郭は、何処ですか。
(イ) 油屋 (ロ) 大安 (ハ) 越後屋 (ニ) 備前屋
- (2) 春日局の寄進したことを記す擬宝珠があった橋は、どこですか。
(イ) 宇治橋 (ロ) 筋向橋 (ハ) 小田橋 (ニ) 錦水橋
- (3) 筋向橋の下を流れる川は、何という川ですか。
(イ) 豊川 (ロ) 清川 (ハ) 小川 (ニ) 甫蔵主川
- (4) 賀茂真淵の門人となり、本居宣長と並ぶ国学の大家となった人は誰ですか。
(イ) 荒木田久守 (ロ) 荒木田久老 (ハ) 出口延経 (ニ) 足代弘訓
- (5) 大塩平八郎や吉田松陰らと親交があり、窮民を救うことの著述を記した人は誰ですか。
(イ) 足代弘訓 (ロ) 出口延経 (ハ) 荒木田久守 (ニ) 荒木田尚賢
- (6) 慶安元年(1648)に、山田に豊宮崎文庫を開いた中心人物は誰ですか。
(イ) 足代弘訓 (ロ) 出口延経 (ハ) 荒木田久守 (ニ) 荒木田尚賢
- (7) 織田信長が、石山本願寺攻めの時使用した鉄甲船は、何処で作りましたか。
(イ) 二見 (ロ) 神社 (ハ) 村松 (ニ) 大湊
- (8) 東郷平八郎や伊藤博文などが宿泊した岡本町にあった集会所兼賓客用ホテルは、何と呼ばれていましたか。
(イ) 十文字屋 (ロ) 賓日館 (ハ) 五二会館 (ニ) 神宮会館
- (9) 家業を止め、牛谷坂の改修で、大金を出した人は誰ですか。
(イ) 油屋お紺 (ロ) 月僊 (ハ) 大主耕雨 (ニ) 千束屋りと
- (10) 西行が、二見で隠棲していたところとされているのは、何処ですか。
(イ) 安養寺 (ロ) 太江寺 (ハ) 天覚寺 (ニ) 明星寺

- (11) 人物・家形などの形象埴輪が配列されたままで発見された古墳は、何古墳群ですか。
- (イ) 丸山古墳群 (ロ) 落合古墳群 (ハ) 大仏山古墳群 (ニ) 赤土山古墳群
- (12) 外宮神主、度会氏が氏神として祭っていた神社は、何処ですか。
- (イ) 須原大社 (ロ) 宇治神社 (ハ) 世木神社 (ニ) 長峯神社
- (13) 江戸時代の寛文 10 年以前に、山田に寺は、何カ寺ありましたか。
- (イ) 15 (ロ) 68 (ハ) 152 (ニ) 371
- (14) 伊勢海老は、江戸では何と呼ばれていましたか。
- (イ) イセエビ (ロ) 江戸海老 (ハ) 鎌倉海老 (ニ) 千葉海老
- (15) 慶光院の建物は、現在何に使用されていますか。
- (イ) 寺院 (ロ) 神宮司庁 (ハ) 大宮司職舎 (ニ) 祭主職舎
- (16) 旧慶光院の建物の門は、御師何大夫の門が移築されていますか。
- (イ) 太郎館大夫 (ロ) 車館大夫 (ハ) 泉館大夫 (ニ) 椿館大夫
- (17) 御師の邸宅で、現在も建物の多くが現位置に残っているのは、何箇所ですか。
- (イ) 0 (ロ) 2 (ハ) 5 (ニ) 10
- (18) 宇治地区で、御師邸の建物の多くが残っているのは、何大夫邸ですか。
- (イ) 龍大夫 (ロ) 春木大夫 (ハ) 山本数馬大夫 (ニ) 橋村大夫
- (19) 祖霊社の淵源は、ある戦争の神都戦没者の霊祭に始まるといわれています。ある戦争とは何ですか
- (イ) 日露戦争 (ロ) 日清戦争 (ハ) 西南戦争 (ニ) 太平洋戦争
- (20) 皇字沙汰文で、問題にされたのは、何ですか。
- (イ) 皇大神宮の皇 (ロ) 豊受大神宮の大
(ハ) 外宮が皇の字を使った (ニ) 内宮が皇の字を使った

2. 次の語群のうち、関係のないものを選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|----------------|-----------|----------|-----------|
| (21) (イ) 常明寺 | (ロ) 蓮台寺 | (ハ) 大林寺 | (ニ) 天覚寺 |
| (22) (イ) 寂照寺 | (ロ) 中山寺 | (ハ) 清雲院 | (ニ) 梅香寺 |
| (23) (イ) 浦田長民 | (ロ) 藺田守武 | (ハ) 岩田涼菟 | (ニ) 山口誓子 |
| (24) (イ) 出口延経 | (ロ) 磯部百鱗 | (ハ) 伊藤小坡 | (ニ) 中村左洲 |
| (25) (イ) 北川矩一 | (ロ) 尾崎一雄 | (ハ) 尾崎行雄 | (ニ) 浜田国松 |
| (26) (イ) 西行 | (ロ) 生方たつゑ | (ハ) 山口誓子 | (ニ) 橋本平八 |
| (27) (イ) 竹内浩三 | (ロ) 澤村栄治 | (ハ) 西村幸生 | (ニ) 野口みずき |
| (28) (イ) 荒木田久老 | (ロ) 杉木普斎 | (ハ) 足代弘訓 | (ニ) 蓬萊尚賢 |
| (29) (イ) 世木神社 | (ロ) 須原大社 | (ハ) 宇治神社 | (ニ) 高向神社 |
| (30) (イ) 油屋 | (ロ) 備前屋 | (ハ) 紅葉屋 | (ニ) 千束屋 |

3. 次の文章の (31) から (35) に入る適語を、各語群より選び、記号で答えなさい。

初めて伊勢参宮をされた天皇は (31) 天皇で、それまでの天皇はどなたも参宮されていない。代わりに多気郡に (32) が置かれていた。但し、(33) 天皇は式年遷宮の状況を見るために参宮をされた可能性があるが、歴史書にその記載はない。(31) 天皇は、(34) 回伊勢参宮をされ、御師邸の (35) 邸に宿泊されたこともあった。

(31) (イ) 昭和 (ロ) 聖武 (ハ) 大正 (ニ) 明治

(32) (イ) 国府 (ロ) 郡家 (ハ) 離宮 (ニ) 斎宮

(33) (イ) 推古 (ロ) 持統 (ハ) 元明 (ニ) 聖武

(34) (イ) 1 (ロ) 3 (ハ) 4 (ニ) 6

(35) (イ) 福島御塩焼大夫 (ロ) 春木大夫
(ハ) 龍大夫 (ニ) 上部大夫

4. 次の説明文のうち、正しい語群を選び、記号で答えなさい。

(36) 御幸道路が作られたときに奉獻された街路樹は、これらの木が植えられている。

(イ) 松・柳・楓 (ロ) 桜・銀杏・楓 (ハ) 楠・楓・桜 (ニ) 銀杏・楠・桜

(37) 伊勢には、伊勢三座と呼ばれる能が、これらの地に伝えられた。

(イ) 村松・馬瀬・小林 (ロ) 馬瀬・小林・二見
(ハ) 竹ヶ鼻・神社・通 (ニ) 竹ヶ鼻・一色・通

(38) 暦応元年(1338)に、大湊から奥州に向けて船出した人々は、これらの人である。

(イ) 義良親王・北畠親房・結城宗広 (ロ) 楠木正成・北畠親房・結城宗広
(ハ) 足利尊氏・義良親王・結城宗広 (ニ) 足利尊氏・新田義貞・北畠親房

(39) 江戸時代、参宮客が土産として買っていった万金丹は、これらの店で売られていた。

(イ) 野間・小西・油屋 (ロ) 小西・岩城・井上
(ハ) 岩城・野間・小西 (ニ) 小西・野間・柏屋

(40) お頭神事やかんこ踊りの中で、国や県指定無形民俗文化財となっているものには、これらの地で行なわれているものである。

(イ) 高向・有滝・小林 (ロ) 円座・高向・村松
(ハ) 上条・佐八・高向 (ニ) 円座・佐八・高向

5. 次の語群のうち、伊勢参宮をしていない人物を選び、記号で答えなさい。

(41) (イ) 織田信長 (ロ) 足利義満 (ハ) 豊臣秀吉 (ニ) 徳川吉宗

(42) (イ) 松尾芭蕉 (ロ) 吉田松陰 (ハ) 本居宣長 (ニ) 坂本竜馬

(43) (イ) 橘諸兄 (ロ) 平清盛 (ハ) 聖徳太子 (ニ) 源義経

(44) (イ) エリザベス女王 (ロ) ダライラマ
(ハ) トインビー (ニ) ガンジー

(45) (イ) 本居宣長母 (ロ) 足利義政妻 (ハ) 前田利家妻 (ニ) 徳川慶喜母

6. 次の文章のうち、それぞれ 1 つずつ間違いがあります。それを選んで、記号で答えなさい。

- (46) (イ) 伊勢暦の配布に、幕府の許可が必要であった。
(ロ) 檀家で、不信心者には、神灰がかけられ呪詛されることがあった。
(ハ) 抜け参りで参宮した人に、宿が提供された。
(ニ) 御師の邸宅では、必ずお神楽が上げられた。
- (47) (イ) 古市に象が来たことがあった。
(ロ) 三大遊郭は、油屋・備前屋・千束屋といわれた。
(ハ) 芝居小屋は、歌舞伎役者の登竜門といわれた。
(ニ) 遊女は、茶汲み女といわれた。
- (48) (イ) 鎌倉時代、船江まで敵兵が攻めてきたことがある。
(ロ) 宇治と山田の合戦で、内・外いずれの正殿も燃えなかった。
(ハ) 貝吹山は、宇治と山田が合戦したときに、ここでほら貝を吹いたことによるといわれている。
(ニ) 山田の町に砦が築かれたことがある。
- (49) (イ) 二軒茶屋の地名は、「角屋」と「津屋」の二軒があったことによる。
(ロ) 二軒茶屋で、明治天皇が船から上陸されたことがある。
(ハ) 河崎には、町を取り囲む堀が巡っている。
(ニ) 船江の朧が池は、もと宮川の支流であった。
- (50) (イ) 御師は、神宮の神主でないとなれなかった。
(ロ) 大塩平八郎は、足代弘訓を頼って伊勢に来た。
(ハ) 宮川の渡しの船賃は、無料であった。
(ニ) 伊勢市役所の敷地は、もと御師三日市家の敷地であった。